

OBの沼田さん 救おう



入院しながら渡米を待つ沼田さん

重度の心臓病で、海外での心臓移植に最後の望みを託しているOBがいる。水戸市の沼田明孝さん（50歳）は、一日も早い心臓移植を希望しているが、国内での心臓移植は数えるほどしか例がなく、年に数千人のドナーから臓器提供のあるアメリカで手術を受ける決意をした。地元でも「助ける会」を発足させたが、目標額の九千万円には程遠いのが実情だ。そこで、沼田さん家族は「中大の学生の皆さんにも、是非カンパご協力をお願いできれば」と訴えている。

（広報課）

沼田さんは、昭和49年経済学部卒と同時に、医療機器メーカーに入社したが、同54年退職。その後、一家で水戸市に移り、株式会社スマイルイーストを設立。多店舗方式のラーメン店「麺亭」を開業し、都内の南あさがや店をはじめ、水戸に4店舗

心臓移植でアメリカへ 中大生も「ぜひ協力を」

と店舗数を拡大していった。

ところが平成8年、「拡張性心筋症」という心臓病が発病。以後、6回の人退院を繰り返しながらも、「麺亭」を維持してきたが、ことし7月に様態が急変した。現在は補助人工心臓装置をつけ、埼玉医大附属病院に入院している。この病気は心筋の収縮力が落ちてしまい、臓器移植以外に方法はないといわれている。そこで沼田さんは体力回復を待つて渡米し、オレゴン・ヘルス・サイエンス大附属病院で手術を受ける方向で準備に入った。

手術に必要な費用は、アメリカへの渡航費、手術費、滞在費などで約九千万円だが、余りに大きな額で家族も途方に暮れるばかり。「沼田さ

んを助ける会」が発足する一方、各新聞社に協力を訴えたりして、各地の善意の輪は徐々に広がってはいる。

年内の手術を目指す

沼田さんの妻、恵さんは「主人は前だけを見て、全力疾走してきたように思います。ここへきて、過去の何十年分の休みを取っているのです。しょうが、なんとも切ない思いです。でも、この土壇場にきて、彼はいつものようにチャレンジする道を選びました。何としても最終目的の社会復帰までサポートしていきたいと思えます。年内の手術を目指しています。中央大学の皆さん、どうかよろしくご協力お願いいたします」と話している。

「沼田さんを助ける会」の活動にご質問、ご意見のある方は、

事務局 029・224・1872 まで

★募金の郵便振込先：振込記号10680

振込番号39035901

口座名「沼田さんを助ける会」

★募金の銀行振込先：常陽銀行見和支店 普通1299868

東京三菱銀行調布支店 普通1490693

口座名「沼田さんを助ける会」